平成26年度　行政評価外部評価結果（速報版）

鳥取市行財政改革推進市民委員会が、8月5日（火）に総合支所のイベント補助金該当事業のうち、市民委員会で選定した6事務事業の外部評価の公開ヒアリングを行いました。
このたび、そのヒアリングの評価結果の中間報告（速報版）が、まとまりましたので以下の通り公表します。
なお、今後は、外部評価の総括、各事務事業に対する委員のコメントなどを取りまとめ、「外部評価報告書」を公表します。

1　対象事務事業

総合支所のイベント補助金該当事業のうち、市民委員会で選定した6事務事業　（下記一覧のとおり）

2　外部評価の判定結果の見方について

（1）評価結果について

事務事業の方向性を「拡充」「現状維持」「改善継続」「縮小」「休止・廃止・終了」の5つの区分で判定するとともに、その理由を記載しています。

（2）評価の視点について

事務事業について、「必要性」「有効性」「効率性」「公平性」「内部評価（今後の方向性）の妥当性」の5つの視点で各委員が評価した結果の比率を記載しています。

3　外部評価結果一覧

No	事務事業名	担当課	評価内容・結果	方向性の集計結果		評価の視点の集計結果									
						必要性		有効性		効率性		公平性		内部評価の妥当性	
1	マスつりフェスタ補助金	国府町産業建設課	本事業について今後、地域の持続的発展のためのイベントとするためには、地域の特色を生かしたイベントとして検討をしていく必要がある。さらに、財政的に自立できるよう、イベントの目的を明確にし、地域資源・地域活力の活用や創意工夫する必要がある。 【改善継続】	拡充	11%	高い	78%	有効である	33%	効率的である	33%	公平である	33%	妥当である	44%
				現状維持	0%	低い	11%	有効でない	56%	効率的ではない	44%	公平でない	67%	妥当とはいえない	56%
				改善継続	78%	判定困難	11%	判定困難	11%	判定困難	22%	判定困難	0%	判定困難	0%
				縮小	11%	【集計結果が示す割合について】 集計結果が示す割合（%）は、評価した9名の評価結果を示しています。 11%⇒1人、22%⇒2人、33%⇒3人、44%⇒4人、56%⇒5人、67%⇒6人、78%⇒7人、89%⇒8人、100%⇒9人									
				休止・廃止・終了	0%										

No	事務事業名	担当課	評価内容・結果	方向性の集計結果		評価の視点の集計結果									
						必要性		有効性		効率性		公平性		内部評価の妥当性	
2	ウォークラリー大会実行委員会補助金	教育委員会国府町分室	「改善継続」としたものの、ボランティアなどの地域活力の活用を図るとともに、公平で適切な補助金となるよう対象経費等について見直しを図る必要がある。また、総合支所分室単独で行っているが、将来は、支所地域の過疎化の進行を踏まえ各総合支所との連携を強化するなどをし、鳥取市全域のスポーツ振興が図られるよう望むものである。 【改善継続】	拡充	11%	高い	100%	有効である	78%	効率的である	56%	公平である	33%	妥当である	44%
				現状維持	22%	低い	0%	有効でない	22%	効率的ではない	44%	公平でない	56%	妥当とはいえない	33%
				改善継続	67%	判定困難	0%	判定困難	0%	判定困難	0%	判定困難	11%	判定困難	22%
				縮小	0%	【集計結果が示す割合について】 集計結果が示す割合（%）は、評価した9名の評価結果を示しています。 11%⇒1人、22%⇒2人、33%⇒3人、44%⇒4人、56%⇒5人、67%⇒6人、78%⇒7人、89%⇒8人、100%⇒9人									
				休止・廃止・終了	0%										
3	各種団体負担金（むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金）	教育委員会福部町分室	事業の評価は「拡充」、「現状維持」と「改善継続」、「縮小」がそれぞれ半数を占め、委員の評価が分かれている。「拡充・現状維持」では、住民が主体となって積極的に活動している点を評価している。その一方で、「改善継続・縮小」では市全域での均衡ある発展という観点から、地域間の格差を是正する必要がある、としている。以上の結果から、他地域や他事業との連携を模索し、効果的な事業の実施・改善策を検討されたい。 【現状維持】	拡充	10%	高い	80%	有効である	70%	効率的である	40%	公平である	40%	妥当である	40%
				現状維持	40%	低い	20%	有効でない	30%	効率的ではない	40%	公平でない	30%	妥当とはいえない	50%
				改善継続	20%	判定困難	0%	判定困難	0%	判定困難	20%	判定困難	30%	判定困難	10%
				縮小	30%	【集計結果が示す割合について】 集計結果が示す割合（%）は、評価した10名の評価結果を示しています。 10%⇒1人、20%⇒2人、30%⇒3人、40%⇒4人、50%⇒5人、60%⇒6人、70%⇒7人、80%⇒8人、90%⇒9人、100%⇒10人									
				休止・廃止・終了	0%										
4	らっきょう生産振興大会助成事業	福部町産業建設課	短期的には妥当な助成であり「現状維持」とした。しかし、「改善継続」という評価も同数程度あり、長期的には現行事業を見直し、若者定住やらっきょう生産への参入など産地維持発展のための戦略を描きながら、より効率的・効果的な事業に対する支援への転換も検討されたい。 【現状維持】	拡充	10%	高い	70%	有効である	70%	効率的である	30%	公平である	50%	妥当である	60%
				現状維持	40%	低い	30%	有効でない	30%	効率的ではない	40%	公平でない	40%	妥当とはいえない	40%
				改善継続	30%	判定困難	0%	判定困難	0%	判定困難	30%	判定困難	10%	判定困難	0%
				縮小	10%	【集計結果が示す割合について】 集計結果が示す割合（%）は、評価した10名の評価結果を示しています。 10%⇒1人、20%⇒2人、30%⇒3人、40%⇒4人、50%⇒5人、60%⇒6人、70%⇒7人、80%⇒8人、90%⇒9人、100%⇒10人									
				休止・廃止・終了	10%										

No	事務事業名	担当課	評価内容・結果	方向性の集計結果		評価の視点の集計結果									
						必要性		有効性		効率性		公平性		内部評価の妥当性	
5	ふるさとの味祭り事業費補助金	佐治町地域振興課	イベントの目的を明確にし、事業内容を改善する必要がある。さらに、財政的に自立できるよう、地域活力の活用や創意工夫する必要がある。また、「縮小」とする意見が3割、改善継続となされた意見にも補助金の見直しを求める意見も複数あり、その取扱いについて検討が求められる。 【改善継続】	拡充	10%	高い	70%	有効である	50%	効率的である	30%	公平である	40%	妥当である	50%
				現状維持	20%	低い	20%	有効でない	40%	効率的ではない	50%	公平でない	40%	妥当とはいえない	50%
				改善継続	40%	判定困難	10%	判定困難	10%	判定困難	20%	判定困難	20%	判定困難	0%
				縮小	30%	【集計結果が示す割合について】 集計結果が示す割合（%）は、評価した10名の評価結果を示しています。 10%⇒1人、20%⇒2人、30%⇒3人、40%⇒4人、50%⇒5人、60%⇒6人、70%⇒7人、80%⇒8人、90%⇒9人、100%⇒10人									
				休止・廃止・終了	0%										
6	公民館祭開催費	佐治町地域振興課	評価の視点は肯定的な評価が多く、事業の評価も「拡充」「現状維持」が半数を占めた。その一方で、「改善継続」「休止・廃止・終了」も半数を占めており、今後は、まちづくり協議会を事務局とした事業の実施や他事業・他地域との連携による効果的な事業の実施等、改善策の検討が求められる。 【現状維持】 【改善継続】	拡充	10%	高い	90%	有効である	80%	効率的である	70%	公平である	70%	妥当である	60%
				現状維持	40%	低い	10%	有効でない	20%	効率的ではない	20%	公平でない	20%	妥当とはいえない	20%
				改善継続	40%	判定困難	0%	判定困難	0%	判定困難	10%	判定困難	10%	判定困難	20%
				縮小	0%	【集計結果が示す割合について】 集計結果が示す割合（%）は、評価した10名の評価結果を示しています。 10%⇒1人、20%⇒2人、30%⇒3人、40%⇒4人、50%⇒5人、60%⇒6人、70%⇒7人、80%⇒8人、90%⇒9人、100%⇒10人									
				休止・廃止・終了	10%										